

本年7月5日、アジ研所長を命ぜられ、着任いたしました。当研修所は、日本と国連との協定に基づき国連の地域研修所として設立され、昭和37年に研修を開始しました。私は、初代のノーヴァル・モリス所長から数えて第20代所長に当たります。

私は、昭和57年に検事に任官し、検察の現場やアジ研を含む法務総合研究所での勤務のほか、法科大学院への派遣等を通じ、日本の刑事司法分野で働いてきました。アジ研は51年にわたる歴史とともに、犯罪の防止と犯罪者処遇の改善に取り組んできた輝かしい実績があることから、アジ研所長を命ぜられたことは大変光栄であるとともに、他方でその重みをひしひしと感じております。

アジ研は、現在までに日本を含め世界中の131の国と地域から参加した4,800人以上のいわゆる研修同窓生を輩出しており、その中には各国における刑事司法や犯罪者処遇の現場において枢要な地位を占め、あるいは刑事司法関係機関の最高幹部としてご活躍されている方々が多数いらっしゃいます。アジ研は、これら同窓生のほか、国の内外で支援していただいている多くの関係諸機関、団体、学者、有志の方々とともに、犯罪の防止、犯罪者処遇に関する実務の改善、刑事司法制度を支える人材の育成など、世界の刑事司法分野の発展に役立つ活動を行ってまいります。さらに海外からの研修生や海外からの訪問者等に対し、日本の刑事司法制度やその運用に関し、今まで以上に積極的な情報提供を行い理解を得る努力をしていきたいと考えておりますので、今後ともご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



平成25年7月

国連アジア極東犯罪防止研修所長 赤根 智子



第107回国際研修  
(平成9年 教官時)



ケニアプロジェクト  
(平成15年 次長時)